

令和 7 年 5 月 13 日

## 第 1 回秦野高等学校学校運営協議会 議事録

1 日時 令和 7 年 5 月 13 日

2 場所 秦野高等学校 会議室

3 出席者 委員 6 名 学校職員 11 名

4 内容

### ○協議

(1) 学校設置部会および令和 7 年度の活動計画について

・昨年度の成果と課題を踏まえ、今年度も学校評価部会と地域連携部会の 2 部会で進めていく。

◎学校設置部会および令和 7 年度の活動計画に関して承認

(2) 令和 7 年度 活動計画・学校評価報告書（目標設定）について

### 視点 1 教育課程・学習指導

- ・個々の学力を向上させるとともに、STEAM 教育の実践を通じて探究的で創造的な学びを推進する。
- ・学習指導要領の改訂に伴い、生徒のニーズに応え、来年度から 3 年次のカリキュラムを改める。
- ・STEAM 教育研究推進校として、生徒評価が高かった昨年度までの 3 年間の取り組みを踏襲する。
- ・探究活動について、3 月の探究フォーラムへの生徒参加を一つの目標として、より実りのある探究活動を行っていく。
- ・学校行事について、昨年度は生徒に責任感を持たせることを意識して文化祭や体育祭を運営した結果、一定の成果を得られた。今年度も生徒が主体的に行動できる環境づくりに努めていく。

### 視点 2 生徒指導・支援

- ・特別活動や部活動を通して、生徒の主体的な態度を育成するための環境づくりを行う。
- ・部活動加入率は微増。文武両道をより高いレベルで実現していく。
- ・生徒指導では、生徒自身がそれぞれの問題について考え、解決できるような声掛け・指導をしていく。そのためには職員間での共通認識を強化していく。
- ・教育相談業務について、より多くの職員が生徒たちと関わる環境をつくることで、相談の窓口を増やし、業務の逼迫を解消するとともに、迅速かつ丁寧な支援を行っていきたい。

### 視点 3 進路指導・支援

- ・大学が開講しているセミナーに積極的に参加させ、より明確な進路選択を促したい。
- ・Classi、Compass 等の学習ツールは、利用方法を整理しながら引き続き積極的に活用していきたい。
- ・昨年度と同様に夏季休業中の姉妹校訪問の準備を進めている。全校生徒へ還元する機会を設けたい。

#### 視点4 地域等との協働

- ・東海大学との高大連携事業は今年度も行いたい。
- ・Instagramなど、ICTを利活用して情報公開を進め、秦野高校生の姿を中学生や地域の方々に積極的に公開していきたい。

#### 視点5 学校管理・学校運営

- ・5月に防災訓練を実施した。今後は実践的な訓練のやり方を検討していきたい。
- ・環境美化について、昨年度は事務室とも協働して不要な物品の整理を行った。今年度も引き続き教育環境の整備を行いたい。
- ・不祥事防止の研修は職員会議前に各グループの輪番で毎月実施している。
- ・職員間で校務の合理化を検討して、働き方改革を進めていきたい。

<委員より>

- ・学校説明会の実施方法について、中学生等の来校者数を増やすための具体的方策はあるのか。  
→今年度は入退場方法を見直す。授業・部活動公開を学校説明会と同時開催にする。
- ・防災について、具体的な状況の想定はしているのか。  
→5月実施の防災訓練では、地震後火災が発生したことを想定。
- ・近年、秦野市内でも土砂災害が発生している。様々な期間を見据えた災害対策が必要。
- ・昨年度の進学実績について、例年見慣れない進学先が見受けられるが、指導の工夫はあったのか。  
→担任を中心とした密な面談により、本人の進路希望に応じた幅広い進路指導を行っている。
- ・昔は浪人も視野に入れる家庭もあったが、現代においては難しいか。  
→経済的事情等もあるため、浪人は避けたいという生徒・家庭が多い。今後もレベルや知名度ではなく、本人の希望に応じた進路指導を行っていくために、外部講師の講演なども積極的に活用していく。
- ・地域の愛着を持てる学校生活を送れる学校にしてほしい。先の見えない時代なので、生徒には様々な体験を通してキャリア形成してほしい。
- ・広畠小学校、大根小学校、大根中学校の3校での連携は強化していきたい。その中で、3校と秦野高校とのボランティアなどの共同事業を模索していきたい。大根中学生からの秦野高校への憧れは強い。
- ・昨年度からの朝の交通指導、クリスマスコンサートは日程的な都合もあり難しいところもあるとは思うが、児童からの期待は厚いため、これからも継続してもらえるとありがたい。
- ・平塚地区においても秦野高校の評価は高いが、中には妥協して入学する生徒もいるのが実情。その中で、秦野高校の面倒見の良さという評判をぜひ広めていってほしい。また、今後のキャリア形成のためにも、生徒に自信を持たせる学校になってほしい。
- ・大根地区においても評価は高い。地域においても関心は高いため、秦野高校の生徒たるプライドを持てる生徒を育ててほしい。

- ・卒業する時に秦野高校の生徒で良かったと思える生活をしてほしい。学校運営協議会も力添えしていきたい。

◎学校評価報告書（目標設定）について承認

5 事務連絡

- ・第2回学校運営協議会 10月予定。